

白葛吟社七月例會（於飛施居）

第一九五二、七、二二
兼題「霜枯」『煙燭』

中熊番茶選

霜枯に感動もなく女過く
熱燭に死そこねる命群ぶ
霜枯や車道駿路に並行す
霜枯の夕べを東ふれの子
なぐさむる言葉少なく霜枯く
放れ馬追ふて誰なし霜枯野
枯や日に日に追はれゆく移民
いちばくの一葉もす霜枯る・
霜枯や色あせしもの置く霜枯
霜枯もむなしく冷ゆる膝頭

席題「虎落笛」「木の葉髪」

白草同阿同帝耕同飛賀松梅雪蘇香

菊

選

茶

選

香

選

選

選

選

選

選

選

選

選

選

選

選

選

選

選

選

選

選

選

選

選

選

選

選

選

選

選

選

選

選

選

選

選

選

選

選

選

選

選

選

選

選

選

選

選

選

選

選

選

選

選

選

選

選

選

選

選

選

選

選

選

選

選

選

選

州連合会副会長、日伯

は今同事業上の部によ

の厚かつた、田本吉久氏

は同地方の日伯人間に人望

一九四四年

二七、四、七

は今回事業上の部によ

の厚かつた、田本吉久氏

は同地方の日伯人間に人望</div

